

令和元年度 第1回岐阜県手話サークル協議会理事会 議事録

令和元年5月25日岐阜県民ふれあい会館405号室にて第1回県サ協理事会が開催された。

有効定数42名、出席理事18名、委任状19名、合わせて37名、有効定数の88%に達し、会議の成立を確認した。

1. 会長挨拶

令和に改まって初めての理事会である。県聴協と県サ協がどのような関係性で、どのように歩んでゆくか考えなければならない出来事が最近あった。後の意見交換で皆さんと考えていきたい。

2. 協議事項

第1号議案 1サークル加盟承認

さるぼぼ（高山市）月2回土曜日活動

第2号議案 平成30年度事業報告

第3号議案 平成30年度決算報告

第4号議案 令和元年度会計収支予算書（修正案）は繰越金の確定に伴う予算の修正を報告



3. その他連絡・報告

(1) リラクゼーション研修について

昨年度は1サークルだけ研修が実施された。手話の関係者はもっと健康に留意してほしい。昨年度までは、聴協に酒井さんが常駐していてケイワン研修の受付がスムーズだったが、今年度からは不在なので、申し込みは県サ協のHPから、聴協にFAXで依頼、または安田会長にメールで申し込んでいただきたい。

(2) サークル紹介及び県サ協 HP について

県サ協のHPには各サークルが紹介されている。より新鮮な情報を提供するために各サークルの情報を寄せていただきたい。このHPを見て今年度はすでに3件の問い合わせがあった。今後も該当サークルには連絡することになる。

(3) ブロック研修会について

各ブロックに分かれて、それぞれ日程、内容について相談。大まかな予定は各ブロックとも出揃ったようだった。

(6) その他

聴協との関係の在り方について

- ・5月に開催された県大会の運営について、人員が足りず大変であったため、岐阜市聴協からサークルの協力体制等について苦言が出された。過去の大会で特に県サ協が直接関わってきた実績がなく、なぜ今回はそのようなことになったのか。酒井さんが聴協を退職され、ますます聴協の情報が入りにくくなることは必至で、どのように連携していくか検討していかなければならない。